

[総評 国語]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 教科目標を達成するために、文法と語彙に特化した教材を設け、その中で文法と語彙を取り入れた学習活動を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元末に設定した「学習のてびき」の「こころ」が大事で、児童が学習したことを他教科でも活用できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の向上については、各領域の「言葉の力」が一覧としてまとめられており、児童が学びの確認を行うことができるような工夫が見られる。</p>	<p>3 年上 P78、 3 年下 P58</p> <p>3 年上 P52、P98</p> <p>3 年上 P51、P126</p> <p>3 年上 P6 ~ P7</p>
17 教 出	<p>(1) 教科目標を達成するために、一つの領域に集中して学習する「基本単元」、複数の領域を関連させて学習する「関連単元」をバランスよく位置付け、指導の重点化を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各単元末に設定した「学習のてびき」の「こころ」が大事で、児童が学習したことを他教科でも活用できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の向上については、単元末に「ふり返る」という学習内容のチェックリストがあり、児童が身に付けた力を自ら振り返ることができるような工夫が見られる。</p>	<p>3 年上 P45 3 年下 P7</p> <p>3 年上 P31、P57</p> <p>3 年上 P29、P55</p> <p>3 年上 P29、P55</p>
38 光 村	<p>(1) 教科目標を達成するために、各学年に、読書活動「本は友達」、言語の特質や運用「言葉について考えるよ」などの特設単元を設け、学習したことの日常化を図る工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、主体的・対話的に深い学びを展開させるために、各単元に「問いをも自分ごととしてとらえて学びを進められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の向上については、巻頭にブックインボックスの形式で、当該学年と前学年の学習内容がまとめられている。</p>	<p>3 年上 P35 3 年下 P107</p> <p>3 年上 P32、P66</p> <p>3 年上 P33、P63</p> <p>3 年上 P5 ~ P12</p>

[総評 社会]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 構成・配列については、各学年「学習の進め方」のページを設け、学びの振り返りを大切にしたい問題解決的な学習を具体的に例示したり、随所に「まなびのポイント」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、「まとめる」場面において多様な表現活動を提示したり、「いかす」場面において児童が自分でできることなどを考え、選択・判断する活動を設けたりすることで、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>単元の末尾に「ひろげる」コーナーを設け、児童が発展的な学習をさらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、「つかむ」「調べる」「まとめる」が大きく表記されていることで、単元を通じた学習の進め方が明確になり、見通しをもって1単位時間の学習に取り組む、主体的な学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性については、「二次元コード」が随所に配置しており、学習に役立つ動画やワークシート、クイズなどの豊富なコンテンツを活用でき、学習を深めることができる工夫が見られる。</p>	<p>5 年上 P24～25</p> <p>5 年上 P15</p> <p>5 年上 P113</p> <p>5 年上 P48、P50</p> <p>5 年上 P81</p>
17 教 出	<p>(1) 構成・配列については、各学年の最初に「社会科の学習の進め方」のページを設け、学びの連続性を意識した問題解決的な学習を具体的に例示したり、随所に「学びのてびき」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、複数の立場や意見を踏まえた対話的な学習ができるよう、「まとめる・つなげる」を中心に学習の整理の仕方や多様な表現方法が例示され、主体的に選択・判断しながら「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>単元の末尾に、「もっと知りたい」コーナーを設け、児童が関心や意欲に応じて、活用できる発展的な資料を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、見開き右ページに「次につなげよう」が掲載しており、各時間の「問い」とつながっていることで、単元を通して一貫した追究を進められ、主体的な学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性については、「まなびリンク」が随所に配置しており、学習に役立つ動画や音声、資料などを学習場面に応じてアクセスすることができ、学習を深めることができる工夫が見られる。</p>	<p>5 年 P2～7 P12</p> <p>5 年 P26、P27</p> <p>5 年 P58、P59</p> <p>5 年 P117</p> <p>5 年 P2</p>

[総評 社会]

発 行 者	総 評	備 考
116 日 文	<p>(1) 構成・配列については、各学年の最初に「社会科の学習の進め方」のページを設け、課題追究を主とした問題解決的な学習の流れの図を例示したり、随所に「学び方・調べ方コーナー」を示したりすることで、問題解決に向けた学習に必要な知識・技能の習得ができるように工夫されている。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、児童が互いに話し合い、多面的に考えたり理解したりできるよう「深め合い」活動のコーナーが提示され、社会との関わり方を選択・判断しながら、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>単元の末尾に「未来につなげる」のコーナーを設け、児童が課題意識をもった内容をさらに追究していく活動を提示することで、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、「考えよう！SDGs」欄を随所に設けたり、SDGsと関連のある現代的な諸課題について地域の対応や取組を紹介したりすることで、子どもが課題を自分ごととして捉え、主体的な学びができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性については、「教科書デジタルコンテンツ」が随所に配置しており、学習に役立つ動画や画像、スライドショーなどにアクセスでき、学習を深めることができる工夫が見られる。</p>	<p>5年 P2～3 P12～13</p> <p>5年 P132、P133</p> <p>5年 P134 P135</p> <p>5年 P181</p> <p>5年 P241</p>

[総評 地図]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 構成・配列については、社会科の目標を達成するために、「地図学習」のページを特設し、親しみやすいキャラクターがガイドしながら地図学習の基礎の定着を図ることができるような配列の工夫が見られる。</p> <p>また、資料地図・統計表では、一つ一つのテーマに即した資料を多く配置することで、調べる視点を広げて、社会的な見方・考え方を働かせながら思考させるための構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、多様な資料及び学習に役立つサイトのリンク集や、タブレット端末をタップすることで白地図との切替えができる地図をまとめた二次元コードを設置するなど、地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」により、社会的な事象に関する興味や関心を高め、主体的な学びにつながる工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の向上については、資料掲載は、「日本の歴史」において、年表と世界地図を関連付け、見開き2ページにわたって掲載することで、児童が日本と世界とのかかわりに気付いたり、理解を深めたりできるような工夫が見られる。</p>	<p>P 7 ~ 8</p> <p>P 6 7 ~ 6 8</p> <p>P 1 7 ~ 1 8</p> <p>P 8 2</p> <p>P 7 9 ~ 8 0</p>
46 帝 国	<p>(1) 構成・配列については、社会科の目標を達成するために、「3年生の学習」のページを特設し、写真やイラストを多く活用しながら地図学習の基礎の定着を図ることができるような配列の工夫が見られる。</p> <p>また、資料図では、細かな資料を厳選して見やすく配置することで、複数の資料を関連付けて、社会的な見方・考え方を働かせながら思考させるための構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、多様な資料及び学習に役立つサイトのリンク集や、タブレット端末をタップすることで調べたい視点での切替えができる地図をまとめた二次元コードを設置するなど、地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、「世界のSDGs」により、社会的な事象に関する興味や関心を高め、主体的な学びにつながる工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の向上については、資料掲載は、「日本の産業」において、グラフや図を精選し、地図を大きく掲載することで、児童が生産量の変化や地域の特性に気付いたり、理解を深めたりできるような工夫が見られる。</p>	<p>P 1 5 ~ 1 6</p> <p>P 9 7 ~ 9 8</p> <p>P 1 1 ~ 1 2 , P 3 6</p> <p>P 8 5</p> <p>P 1 0 3 ~ 1 0 4</p>

[総評 算数]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「ほじゅうのもんだい」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、学習内容の系統性を意識しながら理解を深められるように、関連性のある単元を連続的に配置するなどの構成・配列の工夫がされている</p> <p>(2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、吹き出しや補助発問を単元前半は丁寧に、単元中盤から後半はシンプルに設定して思考の活性化を図るなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。また、計算方法の確認動画や、不足しがちな図形単元の追加練習問題等の演習コンテンツを豊富に設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。さらに、学びを整理し深めるノート指導に関して、思考の流れに即したノートづくりや、ICT機器を活用した際のノートの活用例を掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>地域の実態から、記述式問題、思考力を問う問題について単元毎に「つないでいこう算数の目～大切な見方・考え方」を設けるとともに、学習のしあげ「いかしてみよう」を設け、思考力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、第3学年以降の単元導入には、日常生活との関連を重視した動画コンテンツ「オープニングムービー」を設定することで、児童が学ぶ意義や楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組む態度を育てるように配慮されている。</p>	<p>5上 P126 5上 P14 5上もくじ 5下 P44 5下 P50 5上 P30 5上 P24 5上 P93 5下 P39 5上 P94</p>
4 大日本	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた単元末の「たしかめ問題」や巻末補充問題「プラス・ワン」で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、関連性のある単元を前後に配置したり、学習内容の系統性、領域のバランス等を考慮したりするなどの構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「じっくり深く学び合おう」を適宜設定し、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動を設けるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。また、豊富な適用問題や、巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元に設定し、学習の個別化が実現できるようにするなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。さらに、学びを整理し深めるノート指導に関して、1学年からノートの書き方を段階的に掲載し、徐々に表現力も向上させるなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>地域の実態から、記述式問題、思考力を問う問題について、単元毎に「学んだことを生かそう」を設けるとともに、「読み取る力をのばそう」を設け、日常生活に生かして、論理的な思考力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の教科書を学年1冊にするとともに、「ふりかえりコンテンツ」や「練習問題コンテンツ」などを設定することで、児童が学び直しを行いやすく、知識・技能を身に付けることができるように配慮されている。</p>	<p>5 P36 5 P270 5 目次 5 P27～31 5 P270 5 P8 5 P151 5 P197 5 P91 5 P161</p>

11 学 図	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、補充的・発展的な課題に取り組むことができる「もっと算数」、「できるようになったこと」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、連続して扱うことで身に付く学習内容とスパイラルを意識することで身に付く学習内容を選別して配置するなど、児童にとって学びやすい構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、単元導入で「はてなを発見」を設定し、生活や算数の中にある問題を自らの力で見つけることができるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。また、特に児童がつまずきやすい内容や苦手とする内容を「算数パトロール隊」として適宜設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。さらに、学びを整理し深めるノート指導に関して、2学年から「ノート名人になろう」を設け、表現力を育むノート作りのポイントを掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>地域の実態から、記述式問題、思考力を問う問題について、単元毎に「考え方モンスターでふりかえろう！」を設けるとともに、「なるほど算数」を設け、算数の見方・考え方を日常生活に広げるような工夫がみられる。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、算数における「見方・考え方」をキャラクター化し、教科書の適切な箇所を示すことで、児童が自分の考えを広げたり、新しい考え方を発見したりして、楽しみながら学習を進めることができるように配慮されている。</p>	<p>5 下 P155 5 下 P17 5 下 もくじ</p> <p>5 上 P12</p> <p>5 上 I26</p> <p>5 上 P6</p> <p>5 下 P45 5 下 P42</p> <p>5 上 巻頭 5 上 P78</p>
17 教 出	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じて練習問題を調整できる「ステップアップ算数」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、関連性のある単元を連続して配置することで、既習事項を活用しながら習熟を図ることができる構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「はてな」「なるほど」などの吹き出しを使って、問いをもち、学び合い、考えを深める授業を展開できるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。また、巻末に「学びのマップ」を設定し、既習事項を振り返る際に、いつでも確認して学び直しができるなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。さらに、学びを整理し深めるノート指導に関して、ノートを見合う活動を取り入れて、互いの考え方や表現の仕方を学べるようにするなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>地域の実態から、記述式問題、思考力を問う問題について、単元毎に「学んだことを使おう」を設けるとともに、「算数を使って考えよう」を設け、学習したことを身の回りに生かして考えるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、各単元のまとめとして4コマ漫画や穴埋めでまとめる場を設定したり、つまずきやすい問題をクローズアップしたりすることで、児童が学びを振り返り、「考えるヒント」を見て自ら考えることができるように配慮されている。</p>	<p>5 P265 5 P35 5 もくじ</p> <p>5 P13～15</p> <p>5 P300</p> <p>5 P32</p> <p>5 P187 5 P256</p> <p>5 P226 5 P124 5 P227</p>

61 啓林館	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「もっと練習」や単元末の「学びのまとめ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、児童が苦手としやすい単元を分割して配置し、年間を通して定着が図られるようにするなど、スパイラルを意識した構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、めあてにつながる問いや気づきを掲載して主体性をもち、その後の学び合いで深めたいポイントを見える化するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。また、巻末に「もっと練習」を設定し、補充問題や挑戦問題を用意して、習熟度別学習にも対応できるようにするなど、確実に「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。さらに、学びを整理し深めるノート指導に関して、2学年から「算数ノートをつくらう」を設け、振り返りに役立つポイントを示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>地域の実態から、記述式問題、思考力を問う問題について、単元毎に「学びを生かそう」を設けるとともに、「見方・考え方を深めよう」を設け、筋道を立てて考え、論理的な思考力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、1単位時間の学習内容をページ末で区切り、「めあて」と「まとめ」を明記するとともに、「数学的な考え方」を明確化して掲載することで、児童が主体的に学習に取り組む、対話的な学びが充実するように配慮されている。</p>	<p>5 P258 5 P14 5 もくじ</p> <p>5 P10</p> <p>5 P258</p> <p>5 P8</p> <p>5 P97 5 P172</p> <p>5 P89</p>
116 日 文	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の定着を図る「学習をたしかに」、習熟度に応じた「算数マイトライ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、計算などの基本的な内容は前の時期に配列し、児童が苦手としやすい単元は後ろの時期に配列するなどの構成・配列の工夫がされている。</p> <p>(2) 数学的な見方・考え方を働かせるために、毎時間に「めあて」と「まとめ」を設け、学習過程を可視化するとともに、筋道を立てて考えるための着眼点を示すなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。また、巻末の「算数マイトライ」で、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」の習熟度別の問題を設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。さらに、学びを整理し深めるノート指導に関して、筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、思考過程や友達の考えを書き示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>地域の実態から、記述式問題、思考力を問う問題について、単元毎に「見方・考え方をみがこう」を設けるとともに、「算数ジャンプ」を設け、理由や方法を記述して説明するなど思考力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の巻末に問題解決の過程や、算数で使いたい「見方・考え方」を示したシートをつけることで、児童が学習を進める際の着眼点に気づき、特に、思考力・表現力を身に付けることができるように配慮されている。</p>	<p>5 P16 5 P265 5 もくじ</p> <p>5 P26</p> <p>5 P266</p> <p>5 P6</p> <p>5 P30 5 P120</p> <p>5 巻末</p>

[総評 理科]

発行者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 問題解決の段階の中で「のばそう!理科の力」を設定し、各学年で重点的に育成する問題解決の力を確実に育成することができるよう工夫されている。また、「広げよう!理科の発想」を設定し、他教科を含めた既習内容と関連付けながら学習ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各場面で主に働かせる見方・考え方を青枠で囲んだり、キャラクターのセリフで思考や表現の例を示したりすることで、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びができるような工夫が見られる。</p> <p> まとめの文章は箇条書きですべて振り仮名をつけたり、単元末の「たしかめよう」では、学力調査の枠組みに沿った問題を用意したりすることで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p> 地域の実態から、記述式の問題への対応について、学習の振り返りを記述式にすることで理解を深められるようにしたり、「考えよう」で身近な問題に置き換えて、予想や理由を説明したりするような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「観察」及び「実験」では、拡大した写真や絵、図が提示されており、細部や動植物のつくりが明確で分かりやすく、児童が主体的に問題解決に取り組みながら、観察や実験ができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年 P23 5年 P148</p> <p>5年 P55 5年 P23 5年 P24</p> <p>5年 P34 5年 P112</p> <p>5年 P18</p> <p>5年 P44、45</p>
4 大日本	<p>(1) 「算数科とつなげよう」などを設定し、他教科等で学んだことも生かして学習の理解が深まるように工夫されている。また、単元末で「りかのためまてばこ」や「防災」を設け、学んだことを環境保全やキャリア教育、防災教育などと結び付けて学習できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 巻頭に理科の考え方を意識するきっかけとなる見開きを設けたり、問題発見や考察の場面で、理科の見方につながる着目点を「ココに注目」で示したりすることで、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びができるような工夫が見られる。</p> <p> 巻末の「〇年までの学びとつなげよう」で、下位学年と当該学年の学習内容の関連を示したり、「学びをリンク!」で複数の単元の関連を示したりすることで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p> 地域の実態から、観察や実験の結果をもとに結論を記述することについて、キャラクターの吹き出しを設け、根拠となる事柄を明確にすることにより、結果を整理して考え、結論を記述する力を養うような工夫が見られる。</p> <p>(3) 単元の導入は見開きで構成し、学習問題を見いだすページを設け、生活経験を基にした児童の気付きや吹き出しを提示することで、主体的に学習問題を見いだすことができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年 P173 5年 P16、17</p> <p>表紙裏</p> <p>5年 P81</p> <p>5年 P173 5年 P170、171</p> <p>5年 P165</p> <p>5年 P102、103</p>

<p>11 学 図</p>	<p>(1) 単元の導入では、「できるようにになりたい」で、その単元で高めたい資質・能力をしばって設定し、児童自身が身に付けなければならない力を意識できるように工夫されている。また、単元末では「できるようになった」を設定し、導入場面と対応させ、身に付いた力を振り返る工夫が見られる。</p> <p>(2) 巻頭に理科の見方を領域ごとのゴールで表し、さらに具体的な見方も示したり、本文中でもキャラクターにこれらの考え方を基に発言させたりすることで、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びができるような工夫が見られる。</p> <p>観察・実験後に考察の視点が端的に整理して示されている。その視点をもとに個人思考を行ったり、他者との対話を行ったりすることを通して結論を導く構成となっており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、知識・技能の定着について、「ふりかえろう」では、穴埋め形式や記述式にしたり、「もっと知りたい」では、既習事項を踏まえ、当該学年の学習を振り返ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 理科の見方・考え方及び育成すべき資質・能力が問題解決の各場面で「理科モンスター」として示されており、当該学年でどのような力を付ければよいか確認しながら学習できるような工夫が見られる。</p>	<p>5年 P7</p> <p>5年 P19</p> <p>5年 P3</p> <p>5年 P5</p> <p>5年 P131</p> <p>5年 P154</p> <p>5年 P18、19</p> <p>5年 P4</p> <p>5年 P12、13</p>
<p>17 教 出</p>	<p>(1) 単元の導入では「学習のつながり」を設け、各学年間の関連する既習単元や発展単元を中学校まで示し、学習の系統が意識できるように工夫されている。また、「〇年のチカラ」を設定し、その学年で主に育成する問題解決の力を児童が意識しながら、学習することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を設け、考え方を話型で示したり、児童の発言例に「見方のカギ」「考え方のカギ」のマークを付けたりすることで、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びができるような工夫が見られる。</p> <p>第4～6学年の巻頭に、「〇年で学んだこと」を設けたり、「確かめよう」では関連するページの該当箇所を具体的に示したりすることで、生きて働く「知識・技能」の定着を図ることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、記述式の問題への対応について、単元末の「確かめよう」で、これまで学んだことを使って説明させるような問題を設定し、記述させることで、単元で学んだことを確認できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 単元ごとに学習者のモデルが設定されており、児童が主人公と自分を重ね合わせながら、学んでいく過程を通して、問題を科学的に解決していく力を自然に身に付けられる工夫が見られる。</p>	<p>5年 P8</p> <p>5年 P24</p> <p>5年 P5</p> <p>5年 P138、139</p> <p>5年 P2</p> <p>5年 P21</p> <p>5年 P21</p> <p>5年 P5</p> <p>5年 P103、128</p>

<p>61 啓林館</p>	<p>(1) すべての単元の導入で「思い出そう」を設定し、日常生活や既習内容を振り返ることができるように工夫されている。また、問題解決の各段階を視覚的に分かるように示し、1本のラインでつなぎ、本文と分けて配置することで、児童が学習に見通しをもって取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「理科を楽しむ見方・考え方」では、見方・考え方を端的に例示したり、巻末では、見方・考え方が日常生活でも役立つ場面を紹介したりすることで、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びができるような工夫が見られる。</p> <p>単元導入でパフォーマンス課題を設定し、児童自身が課題意識をもって学習に取り組み、単元の学習後に導入と同じ課題を考えさせる場面が設定されており、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、根拠を示しながら、結果から問題の考察を記述することについて、「考察しよう」が設定されており、科学的な根拠をもとに、他者と協働しながら、結論をまとめていけるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 理科の学習をベースに、技術やものづくり、アート、数学的な発想を組み合わせた題材を配置し、実社会での問題発見、解決に生かす STEAM 教育を紹介し、教科横断的な視点が養われるような工夫が見られる。</p>	<p>5年 P123</p> <p>5年 P34、35</p> <p>5年 P3 5年 P191</p> <p>5年 P15 5年 P29</p> <p>5年 P148</p> <p>5年 P6 5年 P1 5年 P121</p>
---------------	---	---

[総評 生活]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 季節を取り扱う単元では、「夏」「秋」「冬」「春」で構成され、「春」においては、自然だけでなく季節による人々の生活の様子や暮らしの変化に目を向け、自分自身や自分の生活について考えられるような配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 紙面下段の「学びをふかめる」コーナー、学習活動や思考の流れを示した「学びのプロセス」の例示など、児童の気付きの質を高める工夫が見られる。 また、地域の実態から、知識及び技能の習得に関して、公共施設や街の様子のイラスト、公共のマナーや安全に関することがまとめられた「やくそく」コーナーを設定するなど、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる工夫が見られる。</p> <p>(3) 実物大植物を掲載した「いきものずかん」と二次元コード「デジタルいきものずかん」など、具体的な例示や資料を随所に設け、児童の学びを深めたり、利便性を高めたりする工夫が見られる。</p>	<p>下2～7</p> <p>下14、15 36、37</p> <p>上67</p> <p>上121～</p>
4 大日本	<p>(1) 夏休み前は自然や生き物にふれあえる単元を配列し、まちの身近な人々について取り扱う単元を夏休みの後に配列することで、対象に連続的に関わり、その特徴やよさ・自分自身について深い気付きを促す工夫が見られる。</p> <p>(2) 自分の思いや願いを書くスペース、心の動きを表情として描く「気持ちマーク」など、児童の実態に応じた表現力などを高める工夫が見られる。 また、地域の実態から、表現力の育成に関して、体験活動と表現活動が繰り返されるような構成や、表現活動の支援となる「せいかつことば」を設定するなど、他者と考えを伝え合う表現力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 原寸大のアサガオなどの写真やイラスト、具体的な学びを「かくしゅうどうぐばこ」として掲載することで、学習へのイメージをもたせたり、児童の主体的な活動を促したりする工夫が見られる。</p>	<p>下 目次(1)</p> <p>上54、55</p> <p>下43</p> <p>上36、70 上40、90 113、136</p>
11 学 図	<p>(1) 家庭生活に関わる単元では、「家族へ感謝を伝える」という思いをもちながら活動を進めていく単元構成となっており、家の仕事に挑戦し大変さを実感しながら、生活上必要な習慣や技能が身に付けられるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元ごとに主となるキャラクターを設定し、学習を通して変容し、成長していく姿を通して児童の気付きの質を高める工夫が見られる。 また、地域の実態から、学びに向かう力の育成に関して、単元の終わりごとに児童が自ら働きかけたくなる「ものしりノート」「もっと～したいな」を設定するなど、学んだことを生かして新たなことに挑戦していく姿を生み出すような工夫が見られる。</p> <p>(3) 季節や地域に合わせた「ものしり図かん」などの資料や、「もっとみつきたいな。」などの児童の自発的な言葉を思わせるリード文を設け、利便性を高め主体的な活動を促す工夫が見られる。</p>	<p>上94</p> <p>上26、27 上68、86、104 (下34、53等) 上54、55 下58</p> <p>上16など各見 開き頁初</p>

17 教 出	<p>(1) 季節の自然を取り扱う単元では、「春」「夏」が一つの単元に設定されており、各季節の様子や活動したことを意識したり振り返って比較したりしながら、児童の気付きが高まっていくような工夫が見られる。</p> <p>(2) 振り返りを書き込む「なにをかんじたかな」、自己評価ができる「ぐんぐんはしご」など、児童の実態に応じた表現力などを高める工夫が見られる。 また、地域の実態から、表現力の育成に関して、単元ごとに体験したことを絵と文章で記録するための例が大きく示してあったり、児童の会話文やつぶやきが掲載されたりして、他者と考えを伝え合う表現力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習過程をイメージできる「わくわくすいっち」や全体をとらえられるキャラクターと共に学ぶ「はっけんロード」を設け、学習への興味・関心を高め、活動意欲の継続を図る工夫が見られる。</p>	<p>上 目次</p> <p>上36、37 上25、41 55、65他 上79、121 下62、112</p> <p>上11他</p>
38 光 村	<p>(1) 町の公共施設を焦点化した大単元が設定され、利用したり話を聞いたりする具体的活動を通して、自分の地域への興味・関心を高め、それらの関わり等に気付かせるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 小単元に活動中の気持ちを思い出し、伝え合うための「きづいた」「ちょうせんした」などの観点を示した「ふりかえろう」を位置付けるなど、児童の実態に応じた表現力などを高める工夫が見られる。 また、地域の実態から、学びに向かう力の育成に関して、単元の終わりごとに、学びを日常につなげ意欲を高める「楽しい毎日につなげよう」を設定するなど、学んだことを生かして新たなことに挑戦していく姿を生み出すような工夫が見られる。</p> <p>(3) 切り離して持ち運べる「ひろがるせいかつかじてん」を設けたり、絵本作家のイラストや言葉で自身の活動のよさや違いのよさを伝えたりすることで、個別最適な学びを進める工夫が見られる。</p>	<p>下58</p> <p>上23、25</p> <p>下54、44</p> <p>じてん 巻末 言葉・イラ ストは 髓所 (例 p27)</p>
61 啓林館	<p>(1) 2年生の始めに「1年生をむかえよう」という単元が設定され、自分の既存の経験や思いを振り返りながら1年生の迎え方や関わり方に気付き、身近な人々に適切に関わることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成する単元の流れにより、児童の意欲を喚起し、直接体験を大切にしながら伝え合いを充実させる工夫が見られる。 また、地域の実態から、表現力の育成に関して、観察カード、タブレット端末で作成したワーク、多様で具体的な表現方法の例示や、児童の発表の吹き出しを設定するなど、他者と考えを伝え合う表現力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 図鑑編集者監修写真や問いかけの言葉(上巻)を掲載した「びっくりずかん」を設け、活動のヒントとなる「めくり言葉」を表記することで、主体的で継続した活動を促す工夫が見られる。</p>	<p>下6~9</p> <p>上4、6、12</p> <p>下86</p> <p>上18、34 50、78、 80、82、 106 上3、7など</p>

[総評 音楽]

発 行 者	総 評	備 考
17 教 出	<p>(1) 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、主要部分の教材と選択可能なオプション部分を組み合わせて扱うことができるように配慮されている。また、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育むことができるように題材が構成されている。題材によっては、表現教材と鑑賞教材を関連させて学習するものや、学びの中で身に付けた内容を次の題材で生かすことができるように設定されており、学習がより深まるように工夫されている。</p> <p>(2) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「思考力・判断力・表現力等」の育成を意識した発問例が「まなびナビ」に示されたり、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されたりしている。また、児童がワークシート等の資料を二次元コードで読み取る「まなびリンク」が示されるなど、児童が思いや意図を生かして表現したり、音楽の魅力を感じ取ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、鑑賞の学習活動の時に感じ取ったことを表現することができるように、2年生以上に「音楽を表すいろいろな言葉」を活用できるように工夫されている。</p> <p>(3) 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できたり、発達の段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、「楽ふのお話」として1ページに音符と休符、五線、小節についてまとめてあり、それ以降の学習でもこのページで振り返ることができるように工夫されている。音程を分かりやすく学ぶために、第1学年では音の高さに合わせて体を動かす活動が設定されており、児童が感覚的に音の高さを理解できるように工夫されている。</p>	<p>各学年巻末 音楽ランド</p> <p>4年 P52 5年 P36 4年 P14、15 5年 P14～21 P22～27 P30～33</p> <p>5年 P13 5年 P20 5年 P53</p> <p>5年 P80</p> <p>1年 P22、38 3年 P34 3年 P11 1年 P28</p>

<p>27 教 芸</p>	<p>(1) 各学校の特色や児童の実態に応じて音楽を楽しんだり親しんだりできるように、題材ごとに、1つの題材の中から教材や学習活動を選択することができるように配慮されている。また、音楽を形づくっている要素を中心に題材が構成され、各教材が「音楽的な見方・考え方」を働かせながら資質・能力を育めるように設定されている。各題材の中に表現活動と鑑賞活動のそれぞれの領域の教材が設定されており、多様で効果的な学習が展開できるように工夫されている。</p> <p>(2) 音楽的な「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習活動を展開するための具体的な手立てが「考える」で示され、児童の作品例やグループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されている。また、児童がワークシートを二次元コードで読み取る「ムーブの部屋」が示され、児童はつくったものを作品としてすぐに再現し、繰り返し思考することができるように工夫されている。</p> <p>地域の実態から、思いや意図にあった表現をするために、1～4年生に「そだてよう」が示され、常時活動としてリズム感を育成したり、アンサンブル技能を高めたり、音楽づくりに生かせる発想を得たりすることができるように工夫されている。</p> <p>(3) 楽譜については、絵や図での楽譜から五線譜に移行したり、旋律の動きを捉えるためのアニメーション動画が視聴できたり、発達段階に応じて分かりやすく学べるように工夫されている。初めて階名や音符等を学ぶ第3学年では、楽曲を学びながら音符や休符、五線等について学べるよう「がくふマスター」というコーナーが適宜掲載され、歌唱や器楽の学びを通して定着が図れるよう工夫されている。音程を分かりやすく学ぶために、第1学年から第4学年まで適宜「ドレミ風船」のイラストが掲載され、視覚的に繰り返し音程感覚が学べるよう工夫されている。</p>	<p>各学年・各題材 4年 P30～37</p> <p>5年 P10 5年 P39</p> <p>3年 P9 3年 P49</p> <p>1年 P20、39 3年 P39</p> <p>3年 P19、25</p> <p>3年 P17</p>
---------------	---	--

【総評 図画工作】

発行者	総評	備考
9 開隆堂	<p>(1) 発達の段階を考慮した題材が、実践に適切な季節及び行事、学習指導要領で扱われる内容や材料・用具に応じて配列されており、題材と題材につながりをもたせたり、表現と鑑賞の題材を連続して扱ったりする工夫も見られる。また、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、ICT 機器も用具の一つとして活用できる場面が各題材に配列されている。</p>	<p>5・6 年下 P36～39 5・6 年下 p19、63</p>
	<p>(2) 場所や材料から感じたり発想したりしたことを進んで表現できるよう学習のヒントに対して思ったことや試したことが示されているとともに、製作のポイントが分かりやすく掲載されている。また、言語活動や協働で行うことを重視した題材が多く設定されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p>	<p>5・6 年下 P14 5・6 年下 P16 5・6 年下 P10、11</p>
	<p>地域の実態から、イメージを広げるためにアイデアシートの活用例が記されており、自分らしい作品をつくらうとする意欲を高められる工夫が見られる。また、鑑賞する際の視点が具体的に示されていることや二次元コードにおける鑑賞シートがあることで、自分の見方や考え方を広げることができる工夫が見られる。</p>	<p>5・6 年下 P20 5・6 年下 P28、29</p>
	<p>(3) 学習のめあてが3つのキャラクターで示されている。題材の示し方は、その題材で重点的に育てたい資質・能力に関する学習のヒントが示されており、めあての明確化が図られている。また、二次元コードでは、導入・発想の広げ方、用具の使い方、ふりかえりまでを確認することができ、児童が活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>	<p>5・6 年下 P4～7 5・6 年下 P12、13 5・6 年下 P32、33 5・6 年下 P44、45 5・6 年下 P8</p>

116 日 文	<p>(1) 発達の段階をもとに題材が配列されているのに加え、教科横断的な視点で学習を進めたり、一つの題材の中で表現と鑑賞の活動を共に関連させたりしながら活動できる工夫も見られる。また、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、身近なものから諸外国の美術作品まで、多様な形や色に出会うことができる題材が配列されている。</p>	<p>5・6 年下 18、19 5・6 年下 20、21</p>
	<p>(2) 場所や材料から感じたり発想したりしたことを進んで表現できるよう児童同士で思ったことや試したことが示されているとともに、児童の参考作品が多く掲載されている。また、表現や鑑賞の活動を通して、友だちと話し合ったり協働したりする様子が紹介され「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p>	<p>5・6 年下 P42、45 5・6 年下 P36、37 5・6 年下 P50</p>
	<p>地域の実態から、各題材の完成作品を二次元コードで鑑賞することができるようになっており、示されている子どもらしい多様な作品から、児童の発想を広げられるような工夫が見られる。また、鑑賞する際の視点として、制作過程における児童の感想やつぶやきが記されており、自分の見方や考え方を広げることができる工夫が見られる。</p>	<p>5・6 年下 P18、19 5・6 年下 P10、11</p>
<p>(3) 学習のめあてがピクトグラムで示されている。題材の示し方は「めあてのヒント」と「鑑賞のヒント」を児童の思考に沿って示すとともに、写真とも関連付けている。二次元コードでは、用具の使い方、作品の作り方を確認でき、紙面でも図や写真を示し、児童が多様な手段で活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>	<p>5・6 年下 P3、4 5・6 年下 P44、45 5・6 年下 P18、19</p>	

[総評 家庭]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へと、児童の発達段階に応じて、系統的に構成されている。また、基礎的な知識や技能は5学年で多く学び、6学年で再度学習することで、より確実な定着を図るようにしている。さらに、各題材の振り返りや各学年末の「まとめ」を設定することで、自分の成長を実感できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるための工夫については、各題材の最初に「家庭科の窓」を設けて、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。また、日常生活に必要な知識・技能を「いつも確かめよう」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。さらに、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、実践の進め方や実践の例を示した「生活を変えるチャンス！」やSDGsの観点から「プロに聞く！」が設定され、学びを人生や社会に生かせるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、個人の経験の違いによる到達度の差を解消するために「いつもたしかめよう」で作業手順を明確にイメージしやすくするなどの手立てが見られる。また、各単元の終末に家庭へ持ち帰って実践する機会の「深めよう」が意図的に設定され、どの児童も取り組みやすい工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性については、キャラクターが学習のポイントを具体的に示しており、児童の学習意欲を高めるように工夫が見られる。また、衛生・安全の特設ページや、安全・環境・防災のマークとチェック欄の設定により、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。手をのせて練習できる実寸大の写真の表示や豊富な動画コンテンツ等によって、効果的に学習を進めることができるように工夫が見られる。また、「消費生活・環境」の内容を5学年の早い段階で学習したり、SDGsに関するページを設けたりすることで、持続可能な社会をつくる消費者としての知識や技能を身に付けるような工夫が見られる。</p>	<p>表紙裏～P2</p> <p>P6、7 P79、135</p> <p>P3 P136、145</p> <p>P65、121 P134 P42</p> <p>P30、31 P19、P35</p> <p>P1、2 P8～11</p> <p>P137、138 P139、141</p> <p>P36～42 P43</p>

<p>9 開隆堂</p>	<p>(1) 家庭科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へと、2年間を通して系統的に学ぶように構成されている。また、題材が細かく区切られていることで組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導ができる配列となっている。さらに、6学年の終わりには、2年間の学習を振り返り、中学校での学習へつながるような工夫が見られる。</p>	<p>P4、5 P136、137</p>
	<p>(2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるための工夫については、各題材の最初に「生活の見方・考え方」をクローバーで表し、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。また、日常生活に必要な知識や技能を「実習で役立つワンポイント」で示し、確認したり、振り返ったりしながら学べるようになっている。さらに、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、課題解決のステップや取組の例を示した「生活の課題と実践」が設定され、学びを人生や社会に生かせるような工夫が見られる。</p>	<p>P3 P148～152 P37 P80～83</p>
	<p>地域の実態から、個人の経験の違いによる到達度の差を解消するためにスモールステップで学び、その単位時間ごとの振り返りを行うなどの手立てが見られる。また、児童が関心や目的をもって取り組みやすくなるような参考資料や活用例が豊富に紹介され、学習後に家庭で実践できる工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性については、多様性に配慮したキャラクターが学習のヒントを具体的に示しており、児童の学習意欲を高めるように工夫が見られる。また、安全・衛生や防災に関する特設ページや、安全・環境・防災のマークとチェック欄の設定により、児童が安全や環境、防災について意識して学習できるようになっている。大きさの感覚をつかみやすい実物大資料や野菜の切り方・ものさしを表示した裏表紙、豊富な動画コンテンツ等によって、効果的に学習を進めることができるような工夫が見られる。SDGsの観点から「キャリアインタビュー」を設定したり、5学年の学習内容を振り返るページを設けたりすることで、消費者として環境や資源について考えられるような工夫が見られる。</p>	<p>P4、5 P26、27 表表紙～P2 P142～145 P5 P149 裏表紙 P153 P138、139 P78、79</p>

[総評 保健]

発行者	総 評	備考
2 東 書	<p>(1) 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「調べる・解決する」「深める・伝える」の活動や動画等の掲載により、児童の身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(2) 「知識」や「技能」を習得するため、一単位時間に振り返りを設けたり、不安や悩みへの対処やけがの手当の仕方をイラストや動画等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、課題を見付け、自分の考えを整理するための視点に沿って記述し、説明する場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫がなされている。</p> <p>また、地域の実態から、「まとめる・生かす」においてこれから実践したいことを記述できるとともに、さらに資料「スキル」で学習を深められるような工夫が見られる。</p> <p>(3) ステップごとの4ページ構成のためイラストや写真等を大きく掲載したり、記述欄を設けたりすることで、課題を自ら見付け、主体的に学び、思考することができるような作りになっている。</p>	<p>全て5・6年 P9</p> <p>P17 P16 P9～12</p> <p>P42 P43</p> <p>P5～8</p>
4 大日本	<p>(1) 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「考えよう・話し合おう・調べよう」の活動や動画等の掲載により、児童の身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(2) 「知識」や「技能」を習得するため、統計資料等により、学習内容を明確化したり、不安や悩みへの対処やけがの手当の仕方をイラストや写真等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、見付けた課題や解決策について話し合い、日常生活に生かすための考えを説明する場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p> <p>また、地域の実態から、「家で」「地域で」など場面ごとに実践したいことを記入する欄があり、その場面を想定しながら書くことで日常生活へつなげられるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考の流れを矢印で表現したり、イラストやゲーム的な活動を通して課題意識を高めたりすることで、児童が課題を自ら見付け、主体的に学び、思考することができるような作りになっている。</p>	<p>全て5・6年 P22～25</p> <p>P26 P33 P22、23</p> <p>P38 P64</p> <p>P22、23 P20、21</p>
50 大修館	<p>(1) 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「考えよう・話し合おう・調べよう・やってみよう」の活動や動画等の掲載により、身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(2) 「知識」や「技能」を習得するため、一単位時間や各章の終わりの中で振り返りを設けたり、不安や悩みへの対応やけがの手当の仕方のポイントをイラストや動画等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、キャラクターの吹き出し等を基に話し合ったり書いたりする場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p> <p>また、地域の実態から、「もっと学びを広げよう！深めよう！」において、身近な例がたくさん紹介されており、すぐに実践に生かすことのできるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 著名人とキャラクターとの対話を取り上げたり、他者と考えを交流する活動を位置付けたりすることで、児童が考えを広げたり深めたりできるような作りとなっている。</p>	<p>全て5・6年 P4 P9</p> <p>P11 P22 P16、17 P8 P10</p> <p>P14</p> <p>P23 P39</p>

207 文教社	<p>(1) 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「Mission」「Stage」「もう一歩先の自分へ」の活動や動画等の掲載により、身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(2) 「知識」や「技能」を習得するため、学級担任や養護教諭のメッセージにより学習内容を補足したり、不安や悩みの対処やけがの手当の仕方をイラストや動画等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、課題を見付け、課題解決に向けて調べたり話し合ったりする場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p> <p>また、地域の実態から、「つぶやきくん」において、二次元バーコードで実践例を紹介してあり、児童の実践意欲を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考の流れを意識した学習課題を設定したり、段階的に学びを深めやすくしたりすることで、課題意識をもち、日常生活で実践しようとする思いをもつことができるような作りになっている。</p>	<p>全て5・6年 P4～7 P11</p> <p>P4、5 P16</p> <p>P3 P12～14</p> <p>P11</p> <p>P16、17</p>
208 光 文	<p>(1) 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「調べよう・考えよう・話し合おう・やってみよう」の活動や動画等の掲載より、身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(2) 「知識」や「技能」を習得するため、一単位時間に学習した内容を簡潔な文でまとめてあったり、不安や悩みの対処やけがの手当の仕方をイラストや動画等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、資料等から課題を見付け、イラストを基に考えをまとめ、話し合う場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p> <p>また、地域の実態から、「さらに広げよう深めよう」において、二次元バーコードで実践例を紹介したり、写真を載せたりして今後の生活に生かす意欲が高まるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習内容を4コマ漫画のストーリー形式で示したり、発展的な資料を掲載したりすることで、児童が自分の興味・関心に応じて学習を深めることができるような作りとなっている。</p>	<p>全て5・6年 P4 P8</p> <p>P10 P32、33 P8～11</p> <p>P52</p> <p>P7 P16～19</p>
224 学 研	<p>(1) 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「自ら取り組む活動」「対話的な活動」の活動や動画等の掲載により、児童の身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(2) 「知識」や「技能」を習得するため、一単位時間や各章のまとめに振り返りを設けたり、不安や悩みへの対応やけがの手当の仕方のポイントをイラストや動画等で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。また、資料等から課題を見付け、イラストや吹き出し等を基に話し合う場面を位置付けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成するような工夫が見られる。</p> <p>また、地域の実態から、イラストや写真が多く使われており、児童が実際の生活をイメージしやすく、今後の生活に生かす意欲が高まるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習内容やキャリア教育との関連性を明記したり、科学的な資料を多く掲載したりすることで、児童が学んだことを広げたり深めたりできるような作りとなっている。</p>	<p>全て5・6年 P8-11 P15</p> <p>P19、24 P20</p> <p>P13</p> <p>P63</p> <p>P7 P15</p>

[総評 外国語]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 単元の配列については、身近なことを伝え合う学習から世界と日本とのつながりへと、徐々に表現する対象を広げて学習を進めることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「Your Plan」で伝えたい内容を整理し、単元の目標となる「Your Goal」に向け、「Enjoy Communication」において「Step1」「Step2」と段階的に言語活動を繰り返しながら内容を広げることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、目的や場面、状況などに応じたやり取りについて、思考ツールを使い、複数の単元の既習事項を整理する学習を設定することで、自分の考えや気持ちなどを伝え合う児童を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 紙面全般でユニバーサルデザイン書体が使用されており、英文書体をできるだけ一筆書きになるようにしたり、小文字に配慮して4線の第2線と第3線の間幅をやや広げて書きやすくしたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、教科書の登場人物たちの模擬会話を「会話練習映像」で児童が確認し、言語活動に取り組むことで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>6年 P60</p> <p>6年 P61.64.65</p> <p>6年 P36</p> <p>6年 P28.29</p>
9 開隆堂	<p>(1) 単元の配列については、複数の「Lesson」の間に「Let's Check」を設定し、自分の成長や課題を振り返りながら取り組むことで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 英語を使いながら学ぶ外国語学習を展開するために、各単元において、伝え合う目的や場面、状況などに応じ、「Let's Try」「Activity」など、ペアやグループで共に学び合い伝え合う活動を設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、目的や場面、状況などに応じたやり取りについて、各活動の目的を明確に示したり、具体的な表現例を記載したりすることで、自分の考えや気持ちなどを伝え合う児童を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 見やすさと読みやすさに配慮されたユニバーサルデザイン書体が用いられており、独自に開発した書体を使用したり、1行あたりの文字数を30字以内にしたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、語句や表現の音声やリズムを確かめるために、児童が「Song Box」や「Chant Box」を活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>6年 P44.45</p> <p>6年 P16~21</p> <p>6年 P17.31</p> <p>6年 P34</p>

<p>15 三省堂</p>	<p>(1) 単元の配列については、「HOP」「STEP」「JUMP」の流れでインプットの活動から目的に応じて発表する活動へ学習を深めるようにすることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各 Lesson の「Step-up」や「JUMP」では、既習事項を活用して、自分の考えや気持ちを言葉で表現できる活動を設定したり、ペアやグループで対話的に学び合う活動を設定したりすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、目的や場面、状況などに応じたやり取りについて、各 Unit の「JUMP」に既習の表現などから話す内容を選び出す活動を設定することで、自分の考えや気持ちなどを伝え合う児童を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 理解に差が出ないようなユニバーサルデザインが用いられており、ねらいや活動の内容、指示文を分かりやすく明示した紙面構成にしたり、色の見え方の違いに配慮したりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、やり取りや発表のイメージをつかむためのモデル動画を児童が繰り返し視聴して活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>6 年 P4. 5</p> <p>6 年 P30. 34</p> <p>6 年 P34. 35</p> <p>6 年 P40. 41</p>
<p>17 教 出</p>	<p>(1) 単元の配列については、他教科や道徳とも関連させた題材を取り扱い、他教科での学びと外国語を関連付けながら学習することで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「Activity」「Final Activity」において、ペアやグループで互いに学び合う活動を、また、「Final Activity」において、「読む」「書く」「話す [やり取り・発表]」の活動を全て設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、目的や場面、状況などに応じたやり取りについて、Activity から Final Activity へという段階的な言語活動を設定することで、自分の考えや気持ちなどを伝え合う児童を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 英語、日本語ともに、読みやすいユニバーサルデザイン書体が使用されており、書く練習をしやすいようにアルファベットに近い形状の書体を用いたり、4 線の上下幅の比率が配慮されたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、「まなびリンク」を設け、音声や動画、ワークシートなどのデジタルコンテンツを児童が活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>6 年 P66</p> <p>6 年 P46～48</p> <p>6 年 P14～17</p> <p>6 年 P48</p>

38 光 村	<p>(1) 単元の配列については、「You can do it!」の活動につながるように、世界の多様な文化に触れる「世界の友達」を設定するなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 各 Unit において、言語活動を行う「Let's try.」「Plus One」を設け、「Plus One」では、「Let's try.」で扱った話題を別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく相手に尋ねたりするなど、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、目的や場面、状況などに応じたやり取りについて、「Let's try.」で伝え合う目的をそれぞれ示し、単元末の活動につなげることで、自分の考えや気持ちなどを伝え合う児童を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 発達の段階や教材の内容に応じた独自の書体が入り入れられており、4線の幅に合った英語の文字や読みやすく正しい形のユニバーサルデザイン書体による日本語文字が使用されるなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、ネイティブのナレーターによる音声収録されており、児童がイメージをつかみやすくすることで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>6年 P40~43</p> <p>6年 P87.89</p> <p>6年 P35.37</p> <p>6年 P16.17</p>
61 啓林館	<p>(1) 単元の配列については、「Pre Unit」で既習事項に触れ、いくつかの単元末の「REVIEW」で、学んだことを活用する活動を入れるなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元末の「Activity」では、目的や場面、状況に沿って思いや考えを表現し、学期末の「REVIEW」では、既習の表現を活用し、「聞く・話す」「読む・話す」など技能を統合する活動を設定することで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、目的や場面、状況などに応じたやり取りについて、「Step3」においてやり取りのよさを考えさせる活動を設定することで、自分の考えや気持ちなどを伝え合う児童を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 日本語と英語のユニバーサルデザイン書体を使用されており、大文字と小文字の学習に適した4線幅の比率になっていたり、誰にでも必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストに配慮されていたりするなど、児童にとって分かりやすくなるような工夫が見られる。また、デジタル教材においては、紙面の語句などの発音を確認することができる「読み上げ」機能を児童が活用することで、学習効果を高める工夫が見られる。</p>	<p>6年 P10.46</p> <p>6年 P98.102</p> <p>6年 P32</p> <p>6年 P72.73</p>

[総評 道徳]

発 行 者	総 評	備 考
2 東 書	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年では「よりよい学校生活、集団生活の充実」、「国際理解、国際親善」等に関する教材を複数配置するなど、発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、各学年の巻末の「考えるためのツール」に、自分の考えを可視化し、話し合う活動を促すツールを例示し、付録で「心情円」などを掲載することで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、「問題を見つけて考えよう」や「演じて考えよう」など、道徳的行為に関する体験的な学習を設定し、積極的な議論を促したり、児童の多様な考えを引き出したりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、自分自身や人との関わりに関することについて、「つながる・広がる」のコラムを設定することで、自分や他者と向き合い、気持ちや考えを伝え合えるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材の見出しに四つの視点を表すイメージのマークを示すことで、学習する内容をとらえやすくし、教材の冒頭は主題と教材名だけを示し、先入観なく教材を読むことができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年P2、3 5年P182、183</p> <p>5年P184</p> <p>5年P53 5年P148 5年P125</p> <p>5年P142、143</p> <p>5年P4、5 5年P10</p>
17 教 出	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、全学年で人物や地域に焦点を当てた「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」等に関する補充教材を設けることで、児童の実態を考慮した指導につながるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、動作化や役割演技、「やってみよう」などの体験的な学びを設定するなど、自分なりの問いをもたせたり、実際の行動と結び付けながら価値を学ばせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、教材末の「考えよう」「深めよう」「つなげよう」では、様々な問いが設けられており、児童の考えを深めさせたり、多様な考えを引き出すきっかけにさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、自分自身や人との関わりに関することについて、問題解決的な学習ができる「学習の手引き」を設定することで、自分の考えをもち、主体的に学ぶことができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材の題材の下にキャラクターによる吹き出しの言葉で、ねらいとする道徳的価値や教材内容への導入を図り、児童の興味・関心や問題意識を高めることができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年目次 5年P176</p> <p>5年P16 5年P80 5年P93</p> <p>5年P11</p> <p>5年P51、59</p> <p>5年P8</p>

<p>38 光 村</p>	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、全学年で「生命の尊さ」に関する教材を三つずつ配置し、継続して自らを大切にすることを考えられるようにするなど、児童の発達段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、キャラクターによる問いや役割演技、3年生以上における思考ツールを活用するなどし、意欲的に学習に取り組んだり、自分の考えを広げたり整理したりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、全学年の教材末にある学習の手引きでは、段階的に考えを深めていく発問や考えたことを問い直す発問を提示するなどして、児童に多様な価値観で話し合いをさせることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、自分自身や人との関わりに関することについて、「『考える』じゅんびたいそう」の欄を設け、相手の考えをより深く理解しながら議論を深めることを支援する工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、「考えよう・話し合おう」において、学習のテーマや問いを示したり、「つなげよう」で考えたことを問い直させたりすることで、児童が考えたことを日常生活で生かすことができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年P2、3 5年P192</p> <p>5年P16 5年P47 5年P188 5年P76</p> <p>5年P19 5年P23</p> <p>5年P70、90</p> <p>5年P114</p>
<p>116 日 文</p>	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年で「友情、信頼」「国際理解、国際親善」等の補助教材（ふろく）を設けるなど、児童の実態を考慮した指導の充実につながるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、巻頭に「道徳の学び方」を設け、学び方の基本を理解させたり、教材全体への見通しをもたせ、問題意識を高めさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、別冊「道徳ノート」や教材に関連した内容を取り上げた「心のベンチ」を設定するなど、自分の考えを広げさせたり、多様な価値観に触れさせたりすることで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、自分自身や人との関わりに関することについて、関連する題材をまとめて学期ごとに配置することで、互いに理解し、認め合う心を育むための学習を集中的に行うことができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材の文頭に主な登場人物の紹介や内容に沿ったリード文を設けることで、児童の教材内容についての理解を助け、内容をイメージしながら考えたり話し合ったりすることができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年目次 5年P184</p> <p>5年P4、5</p> <p>5年P18 5年P80</p> <p>5年目次</p> <p>5年P20</p>

208 光 文	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、高学年では「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」等に関する教材を複数配置するなど、児童の発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、冒頭の問いの設定や教材末に児童の思考に寄り添う問いを提示するなど、自分のこととして考えさせたり、「どうして」「なぜ」と問い続けさせたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、教材と関連した内容を取り上げた「ひろげよう」を設定し、自分の考えを視覚化したり、学習した内容をまとめたりできる発達の段階に応じた思考ツールを掲載することで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、自分自身や人との関わりに関することについて、コラム「へこんでも立ち直る」を設定し、豊かな人間関係を養うとともに、自己肯定感を高めることができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、成長する鳥のアイコンで導入・展開・発展の発問を提示し、児童が自問自答しながら主体的に深く考えたり、考えを広げたりしながら、多様な見方・考え方ができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年目次 5年P188</p> <p>5年P10 5年P74</p> <p>5年P29、30 5年P6</p> <p>5年P148</p> <p>5年P13</p>
224 学 研	<p>(1) 道徳科の目標を達成するために、例えば、5学年では、年度の前半に「自分自身に関すること」、後半に「集団や社会に関すること」の教材を多く配置するなど、児童の発達の段階に応じて指導できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 内容や指導の充実については、よりよく生きるための「心の四つのとびら」の紹介とともに、「自分が～」「あなたは～」と児童の思考に寄り添う発問を提示し、自分のこととして考えさせることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。また、学んだことをもとに思考を広げる「深めよう」や学習したことをもとに、自分につなげて考えたり話題を広げたりする「心のパスポート」を設定することで、多面的・多角的に考えさせることができるような工夫が見られる。</p> <p>地域の実態から、自分自身や人との関わりに関することについて、巻頭に「つながる私 広がる私」を設定することで、自分自身と向き合い学ぶことができ、自分の良さに気付けるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 利便性の工夫については、教材の題名の上に四つの視点をマークと色で示したり、題名の下に教材文を読みたくなるようなフレーズを掲載したりし、児童が主体的に学習することができるような工夫が見られる。</p>	<p>5年P4、5</p> <p>5年P8、9 5年P75 5年P47</p> <p>5年P23 5年P67 5年P43 5年P97</p> <p>5年P2、3</p> <p>5年P6 5年P14</p>